

『豊かで活力ある安全安心な川路』の実現！ 2021年（令和3年）10月20日

コロナ警戒レベルが1になり、10月12日タウンミーティングが開始されました。12日2区、14日3区、16日4区、18日5区、19日6区まで実施する事が出来ました。今村会長から、半年経過しました令和3年度の川路まちづくり委員会活動状況と川路土地利用計画の中間報告が詳細に報告されました。川路地区には、平成23年に制定されました「川路地区目標、地区計画、土地利用計画」いわゆる「みどり本」が有り、川路まちづくり委員会の活動の大きな指針となっております。

しかし、制定当初目標としました10年が過ぎ、次の10年に向けて改定する時期になっております。そこでまちづくり委員会では、みどり本改定検討に先立ちまして、その基本となる川路の「土地利用計画」に関しまして、10代の若者から70代の有識者までの51人による川路土地利用計画検討委員会を令和元年11月に立上げ、令和2年12月まで合計11回の検討会を持ち、検討して参りました。その検討結果を受け、「川路土地利用計画策定委員会」により、里山部会、住宅部会、農地部会の3つの分野に分けて検討中です。今回タウンミーティングで、その検討結果を中間報告の形でご説明させて頂きました。特に里山に関して貴重な意見が多く出され、川路の財産である三穂境の里山の保全が大きな課題として浮上して参りました。川路の里山は広葉樹林の豊かな里山であり、住宅地に隣接した里山は、防災の面からも重要な機能を持っており、乱開発を防ぎ、維持管理して行くべきとの声が多く寄せられました。一方川路を離れた山林地権者の方も高齢となり、維持管理が負担となり手放したいとの要望が川路自治振興センターに寄せられるようになって参りました。中には東京都内の不動産業者を経由して川路とは縁もゆかりもない第三者に売却されてしまう事例も発生して参りました。このまま放置しておけば、やがて乱開発が進み、災害のリスクも高まってしまいます。対策を検討する中「川路里山管理組合」構想が浮上して参りました。まだまだ、たたき台の段階ですが、多くの皆様のご意見を伺いたく、タウンミーティングでその検討案を説明させて頂いております。今回はあくまで検討案の説明であり、今後地権者の皆さんを含めしっかりと検討して参りたいとお話していますが、タウンミーティングに参加頂いた多くの方々から、防災の観点から里山の維持管理は重要であり強力に進めて欲しいとのご意見を頂きました。又、9月24日に開催した「市長と語るまちづくり懇談会」で検討案について飯田市の支援をお願いしましたが、「素晴らしい取り組み」と評価を頂き、飯田市としても積極的に支援をして頂ける旨回答を頂きました。「みどり本」改訂と合わせまして、川路まちづくり委員会の重要課題として今後検討して参ります。

## 川路里山管理組合 検討案

## 【設立背景】

1. 川路の豊かな里山は住民全体の貴重な財産です。
2. 急峻な地形が多い川路では、土砂崩れ等が発生しやすく、里山の保水効果は大変重要です。
3. 住宅地の近くに豊かな里山があるのが、川路の魅力になっており、住民アンケートでも、多くの方が豊かな里山が川路の魅力であると答えています。
4. 一方、相続、県外在住、高齢等で山林の維持が負担になり、手放したいと考えておられる方が増えて来ています。
5. 個人所有では、維持に経費がかかり、止む無く転売するケースが見られ、転売の結果、地区外の方の所有となり、周辺の住民が大変困る事例が発生しております。
6. このまま推移しますと、虫食的な開発が進行し、貴重な里山が失われ、災害が発生してしまう事を懸念します。

↓

## 【ねらい】

- 川路とは関わらない、無責任な方への転売を防ぐ。
- 個々ではできない里山整備を、地域全体でまとまって整備。
- 地域全体の自然景観、防災を保つ。

## 【組合の組織形態の研究】

- 税の優遇制度や、手続きの簡素化等の視点から現在検討中です。
- ・NPO法人、公益財団法人、地縁認可団体、ナショナルトラスト団体、共同組合法団体 など

## 【管理する里山】

- ・川路土地利用計画で里山エリアに指定された場所（保安林は除く）

## 【預かり方法】

預かり方法	所有者	管理者	納税者	
①山林寄付	組合	組合	組合	いずれも、譲渡権や利用権を組合に委任頂き、森林の活用や保全を行う。
②管理委託	個人	組合	所有者	
③				
④				

## 【行政の支援（整備等）】

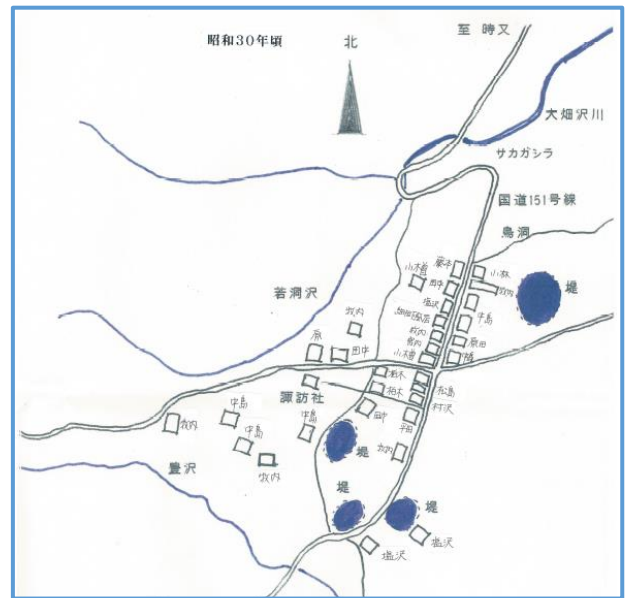
- ・個人個人の所有では、補助は受けられないですが、まとまって地域の組織になれば、行政の補助が受けられるようになります。
- ・「市長と語るまちづくり懇談会」では、飯田市が素晴らしい取り組みと評価し支援を表明。

## 【管理費について】

- ・寄付金（出資金）を募る。
- ・補助事業を申請する。
- ・管理委託者から、若干の預かり料をもらうなど、検討中。

## 川路へ帰ろうプロジェクト

今年も「川路へ帰ろうプロジェクト」を行います。今年で3年目になるこの取り組みは、川路出身の皆さんに、ふるさとの最近の情報をお届けし、川路との絆を保ち、将来Uターンして帰って来て頂きたいというプロジェクトです。併せてふるさと納税もお願いし、毎年多くの方からご寄付を頂いております。例年、館報、役員会便り、運動会チラシ等をお送りしておりますが、今年は趣向を凝らして、天龍峡温泉の素と川路の昭和初期の古地図を同封することにしました。2区から5区までは昭和初期の家並みの地図が有りましたが、6区から8区は無く、急遽各区長さんに作成して頂きました。折角の古地図ですので、整理したうえで、地区の皆さんにもお配りできる様に準備をして参りたいと思っております。



「川路8区古地図（中心部のみ拡大）」



## 「天龍峡秋の彩展」が始まりました

10月18日より「天龍峡秋の彩展」が始まります。期間は約1か月。メインの行事はドーム菊の展示と24日の「天龍峡マルシェ」になります。ドーム菊に関しては7区の「相生花いっぱい運動」有志の会（今村智司会長）の皆さんが育ててくれました。ドーム菊約600鉢が展示されます。又今年は川路自治振興センター、ハートヒル川路とデイサービスセンター「あやめ」の3か所にも展示して頂きました。持ち運び可能な小さなサイズのドーム菊を天龍峡マルシェ当日幾島館（北駐車場）近くのテント市で販売を計画しております。秋の1日を天龍峡マルシェを楽しみながら、お帰りの際はドーム菊を購入してみても如何ですか？



川路7区中心部に展示されたドーム菊



## 11月28日 川路文化祭が行われます。

昨年中止となりました文化祭が11月末に行われます。今年は2会場に分かれて、川路小学校で演芸発表会、川路公民館で展示発表が行われます。まちづくり委員会は展示担当として公民館を支援して参ります。書道、絵画、写真等の芸術作品だけではなく、個人で集めた収集品（高価なものを除きます）等楽しい展示も考えております。右の写真は7区の今村公人さん所有の戦後間もない頃の相撲大会の写真です。今村さんには文化祭の展示に出品して頂く様に現在準備をお願いしております。皆さんのお宅に古き良き時代の川路の楽しい写真は有りませんか？地区のお祭り、小中学校の行事の写真展示等、今年の文化祭展示は「楽しい展示」をコンセプトに進めたいと思います。是非ご協力をお願い致します。



天龍峡で戦後間もない頃行われた相撲大会の写真